



と う み
東 御
 市議会だより

TOMOMI

Vol.20 2009 2/1



出初式での行進（中央保育園）



今年1年の健康を願って（県区）

第4回定例会・第2回臨時会

正副議会議長あいさつ……………2P
 各委員会構成・一部事務組合構成……………3P
 第4回定例会……………4～5P
 常任委員会審査報告……………6～7P
 一般質問……………8～15P

請願・陳情……………15P
 全員協議会だより……………16P
 議会のうごき……………17P
 私の一言……………18P

11月臨時会

市議会議長に
副議長に

町田 千秋
三縄 雅枝



町田千秋議長

東御市発足後2回目の市議会議員選挙が行われ、今までの議員定数22名から、3名減の19名が当選しました。
その後開会されました臨時議会において議長に選出をいただき、いま改めてその責任の重さを痛感しているところであります。

公平な議会運営と、さらなる議会の向上に努め、市民の皆様が親しまれ信頼される、より開かれた議会運営を目指して微力ではありますが、議員各位ならびに市民皆様のご支援をいただき、職務を全うする決意であります。景気が急速に悪化している中で、通常国会が開会となりました。景気浮揚策や、雇用対策、暮らしを支える手だて等を早急に講じていただくために、速やかな審議が行われ、その方向を早期に示していただきたいと願うところであります。地方自治体は、国の政策によって財政状況が変わり市民生活に直接影響を受けるわけでありま

す。
地方分権といわれながらも現実にはまだまだ中央集権社会であります。地方交付税が年々減額されるなかで市の将来を見据え、行財政改革に取り組みと共に市民の福祉向上を図って行かなければなりません。
本年は丑年であります。数多くの課題を背負っていますが、一步一歩着実に行政と議会が両輪となって市民皆様の負託に応えるよう、最善の努力をして参りたいと考えております。
皆様のご指導と、ご協力をお願い申し上げます。挨拶といたします。



三縄雅枝副議長

昨年11月の改選で副議長の重任を押し、今その責任の重さを痛感いたしております。また、女性初の副議長という事でもあり、後に続く皆様の為にもしっかりと頑張らなければと決意を込めております。

現在の社会情勢を見ますと、何かが大きく変化をしていくのではないかと、また、人々も変化を求めているのではないかと、体制の中に新しい風を吹き込む事で、少しでもよい方向に変化をすることを望み期待をしているのではないかと感じております。時代の流れの中で、よりよい方向に向け、変えるべきものは変えていかなければならないと思っております。議会においても以前より議会改革に取り組んでおりますが、まだまだ課題はいくつかあります。

市民に開かれた議会、いま以上に市民に信頼される議会を目指し、皆で力を合せ、課題の解決に取り組んでいきたいと考えております。誰かから見ても、良識ある東御市議会であると言われる議会でありたいと強く思っています。また、議会は行政との二元代表制であると言われております。議会は常に市民の側に立ち、市民益を考えての、行政のチェック機能であるべきと考えます。

社会状況が悪化する中で、ますます財政は厳しさを増して行くと思われれます。行政のムダをなくし、福祉、医療、教育、産業振興等を充実し、皆様の信頼に応え、さらなる活力ある東御市を目指して頑張っております。皆様方の暖かな御支援と御協力をお願い申し上げます。挨拶といたします。



11月臨時会で

各委員会構成が決まる

委員会には、常任委員会、議会運営委員会および特別委員会があります。

常任委員会は別記の3つに分かれ、付託された議案や

請願などを審査します。議会運営委員会は、議長の諮問等に応じ、議会の円滑な運営方法などについて話し

合いを行います。議会広報調査特別委員会は議会だよりの発行などを行います。

その他の特別委員会はその都度必要に応じて設置されます。

総務文教委員会(6人)

- ◎石和 大 (本海野)
- 小山 義明 (西海野)
- 依田 俊良 (県)
- 青木 周次 (畔田)
- 堀 高明 (東深井)
- 三縄 雅枝 (金井)

議会運営委員会(6人)

- ◎青木 周次
- 依田 俊良
- 土屋 伸吉
- 石和 大
- 堀 高明
- 山崎 美喜子

産業建設委員会(6人)

- ◎長越 修一 (田中)
- 清水 新一 (田沢)
- 蓮見 喜昭 (出場)
- 櫻井 寿彦 (加沢)
- 井出 進一 (田之尻)
- 依田 政雄 (下八重原)

社会福祉委員会(6人)

- ◎船田 貴久夫 (西宮)
- 柳澤 旨賢 (中八重原)
- 土屋 伸吉 (新張)
- 若林 幹雄 (中屋敷)
- 阿部 貴代枝 (別府)
- 山崎 美喜子 (乙女平)

議会広報調査特別委員会(9人)

- ◎清水 新一
- 依田 俊良
- 蓮見 喜昭
- 土屋 伸吉
- 若林 幹雄
- 阿部 貴代枝
- 石和 大
- 三縄 雅枝
- 町田 千秋



各正副常任委員長

広域連合議会・一部事務組合議会等

上田地域広域連合議会

- 石和 大
- 船田 貴久夫
- 三縄 雅枝
- 町田 千秋

川西保健衛生施設組合

- 青木 周次
- 依田 政雄
- 柳澤 旨賢

上田市東御市真田共有財産組合

- 清水 新一
- 小山 義明

北佐久郡老人福祉施設組合

- 阿部 貴代枝
- 山崎 美喜子

小諸市外二市御牧ヶ原水道組合

- 若林 幹雄
- 依田 俊良
- 井出 進一

佐久水道企業団

- 青木 周次

東御市監査委員

- 櫻井 寿彦

補正予算一覧表

(1万円未満四捨五入)

会計名	補正額	主な内容	
一般会計	2億1,086万円	住民税年金特徴実施経費	1,079万円
		福祉の森調整池堆積土砂除去工事	434万円
		上田広域クリーンセンター負担金	819万円
		中小企業振興資金預託金	3,000万円
		下水道事業会計繰出金	4,652万円
		西川改修工事	1,400万円
		田中・津小遊具設置工事	927万円
介護保険特別会計	29万円	居宅介護サービス等諸費の増額 施設介護予防サービス等諸費の減額	
水道事業会計(収益的支出)	2,603万円	金原川河川改修	1,000万円
〃(資本的支出)	▲460万円	西川国道横断工事	700万円
下水道事業会計(収益的支出)	8,751万円	金原川河川改修に伴う仮設工事費	3,600万円
〃(資本的支出)	▲1,546万円	支払い消費税の増	4,652万円

税分との説明だがその内訳を聞きたい。
上下水道局長 下水道の場合、施設整備に関わる部分は市が操出し、償還している。水道事業のほうは、収入になるが、そこに消費税がかかるというものである。
問 コミュニティ放送調査事務諸経費122万2千円とあるが、1つの放送局を市や第3セクターで果たしてできるか、上田市や周辺と組むことは考えられないか。
市長 オフトークや有線放送に変わるものとして、防災無線は高額であり、実質的でなく、他の災害地でもFM放送が機能している実例がある。以前からFMをやりたいという市民団体の動きもある。東御市に実質的にできるかどうか単独施設で電波体を使用できるかを調査させていただきたい。採算ベースが許容範囲にあるか、防災時の緊急放送も考え、検討せざるを得ない。

平成20年 第4回定例会(12月9日~25日)

一般会計 2億1千86万2千円補正

補正予算・条例の一部改正など27議案 原案どおり可決・同意

平成20年第4回定例会が、12月9日から25日までの17日間の会期で開催された。20年度各会計補正予算案について質疑応答があった。また、2つの新設条例、3つの条例の一部改正や16の指定管理者の指定についてなど22議案については、各常任委員会に付託され、慎重に審議された。その後、委員長報告・討論・採決がなされ、それぞれ原案どおり可決された。

平成20年度 一般会計補正予算 可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1086万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を141億5119万6千円とするものであり、審議の中の主な質疑は次のとおりであった。
問 田中保育園のプレハブ園舎増築の中止とどういふことか。
子育て支援課長 既存園舎の総面積が1000㎡を超え、建築基準法上で3m以上の避難路設置の必要が生じ、予定の保育室の面積が確保できないため、検討の結果、中止とした。
問 福祉の森、調整池の堆積土砂除去の想定量はどのくらいか。
民生福祉部長 予定は434㎡で今回はじめての掃除で、葦等の繁茂で周辺から苦情が出ており、国庫補助を受け実施したい。
問 太陽光発電施設導入補助金の、現在までの実績と、今回60万円の補正は何kw分で何件の予定か。

企画課長 現在までに25基を設置した。総出力96・59kW、最近4kWが多く、6、7件の予定である。kW当りは3万円の補助である。
問 クリーンセンターの負担金で、人件費が増え、2人から3人と増員になり、是非、建設場所を何とかしたいという意気込みだと思いがどんな経過で話合いがされているのか。
市長 処理場の経緯については、広域では下之郷地域と話し合いの申し入れをしたが、話し合いはできない状況にある。広域として上田市に調整を依頼し、各地域で説明会を開催していただいている。将来の建て替えを見越した当初4万㎡の土地から半分の2万㎡位にして、建設もガス溶融炉からストーカ炉に計画しながら、地元説明会を繰り返していただいている。基本的に住民の反対があつて非常に難しいが、最適地として広域で判断した場所であり、一層の努力をお願いしている。また、奈良尾地域、清浄園周辺にどうかとの報告があるが、周辺住民の理解が得

られないか予断を許さない状況の中で、候補地は上田市に検討を進めていただいている。
問 商工業振興助成事業補助金の2600万円の増額補正は、条例改正によるものか、既存の予算に不足が生じたものか。
産業建設部長 条例改正のものでなく、すでに申請されているものは17件で、これから予測されるものが3397万円ほどで、当初が800万しかなかったので増額した。
問 下水道事業への4651万8千円の繰出しは、繰上げ償還分と消費



福祉の森 調整池

特別会計 補正予算 可決
企業会計

上記の「補正予算一覧表」とおり、一般会計、1つの特別会計、2つの企業会計の各補正について審議をし、原案どおり可決された。

平成20年第4回定例会で 可決・同意した条例等

- ◆ 議案第101号 東御市医学生等奨学金貸付条例
- ◆ 議案第101号に対する附帯決議 条例施行後に、市民病院等における医師の確保について、十分な効果が見込めない場合には条例の見直しに努めること。



田中保育園プレハブ園舎

- ◆ 議案第102号 東御市障害者支援施設条例
- ◆ 議案第103号 東部町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- ◆ 議案第104号 東御市商工業振興条例の一部を改正する条例
- ◆ 議案第105号 東御市宮住宅管理条例の一部を改正する条例
- ◆ 議案第106号 第121号 指定管理者の指定について (同和集会所・海野宿歴史民族資料館・文化会館・温泉コミュニティセンター・芸術むら公園・デイサービスセンターきたみまき・高齢者センターみまき・高齢者共同住居ふるさと・ふれあいトロンセンター・農業農村活性化施設・農林水産物直売食材供給施設・加沢地区共同園芸施設・温泉健康複合施設・羽毛田勤労者会館・海野宿駐車場・農産物加工施設)
- ◆ 議案第122号 長野県市町村自治振興組合規約の変更及び組合を組織する市町村数の減少について
- ◆ 議案第123号 人権擁護委員候補者の推薦について「岡本真一さん(乙女平)」

文化会館等の指定管理者を指定

本委員会は、付託された議案3件・陳情2件について審査を行い、2小学校の遊具の現状について現地調査を実施した。

「海野宿歴史民族資料館指定管理者の指定」については、現在も管理を行っている海野宿保存会を指定するものであり、全員の賛成で原案を可決すべきものと決定した。なお、審議の中で展示内容のさらなる充実を求める意見が出された。

「東御市文化会館指定管理者の指定」については、公募した中で、3社によるプロポーザル審査により決定されたこと、事業の継続性確保、成果の確認等の観点から、全員の賛成で原案を可決すべきものと決定した。

「長野県市町村自治振興組合規約の変更及び組合を組織する市町村数の減少について」は、電子自治体推進のための事務を、長野県と共同して行う事等が想定されるための変更等であり、全員の賛成により、原案を可決すべきものと決定した。

陳情第5号（15P参照）については、平成20年6月議会において採択した「新保険業法から

総務 文教

共済制度の適用除外を求める陳情と相違があるという意見が出され、賛成多数で不採択すべきものと決定した。

現地調査は、本議会の補正予算で可決されたものの中で、田中小学校、祢津小学校の遊具について、現状と新しい遊具の設置場所について調査を実施した。



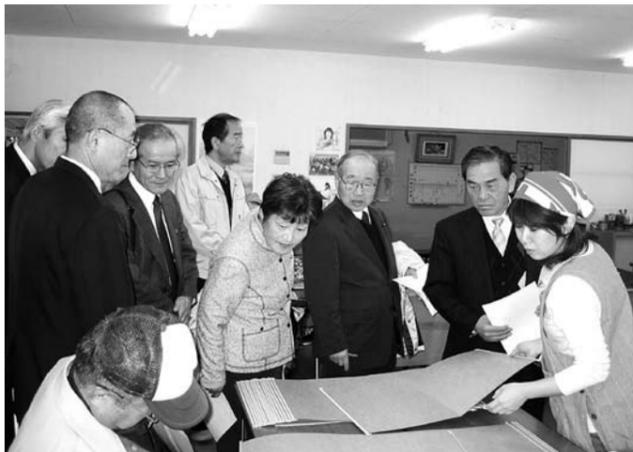
祢津小学校校庭の遊具の状況

医学生等奨学金貸付条例が可決される

本委員会は、12月18日に付託された議案8件と陳情4件について、審査を実施した。

現地調査は、指定管理者指定に基づく5ヶ所の施設を調査した。

議案審査については全議案を可決すべきものと決定した。審議経過の中で「東御市医学生等奨学金貸付条例」について、本条例の2つの目



デイサービスセンターきたみまき共同作業所

社会 福祉

的の1つである「市民病院等の医師確保」のためには、勤務場所が原則として市民病院とみまき温泉診療所の2ヶ所しかなく、選択肢も少ない中で幅広く人材を募る必要があるとの理由で、第2条第2号の市内に住所要件を有する部分を削除すべき旨の修正動議が提出された。修正案を可決すべき意見として、医師の確保に重きをおくべきとの意見と、一方、原案を可決すべき意見として、郷土の医療を支える思いを強くアピールする必要がある、市の税金を使うものなので市内在住者に限定すべきとの意見が出された。最初に修正案の採決を行った結果、否決となり、続いて行った原案の採決については賛成多数により原案を可決すべきものと決定した。

採決後、条例の施行の際に懸念される事項について、議会として付帯決議をするべきとの動議が提出され採決の結果、全会一致で付帯決議を提出することに決定した。

次に陳情4件（15P参照）については、陳情第1号は採択され、他3件は不採択となった。

陳情第2号は、低所得者の負担を軽減し、国の負担割合を引き上げるべきとの意見と現在でも低所得者への負担軽減は行われており、利用者の増加による保険料は増額されており、介護保険制度自体を維持していくためにはこれ以上軽減すべきでないとの意見が出され採決の結果、不採択と決定した。陳情第3号、陳情第4号も採決の結果、不採択すべきものと決定された。

現地調査では各施設それぞれ地域性を生かす温もりのある運営がなされていることを感じた。

東御市商工業振興条例の一部を改正する条例等審査

本委員会は、付託された2つの条例議案、9つの指定管理者の指定および陳情2件の審査を実施したほか、鞍掛工業団地などの現地調査をした。

条例については、東御市商工業振興条例の一部を改正する条例と東御市営住宅管理条例の一部を改正する条例を全会一致で可決した。指定管理者の指定については、東御市温泉コミュニティセンター（御牧乃湯）、東御市芸術むら公園（アトヴィレッジ明神館）、東御市農業農産活性化施設（湯葉里館）、東御市農林水産物直売食材供給施設（道の駅雷電くるみの里）、加沢地区共同園芸施設、東御市温泉健康複合施設（ゆうふるTanaka）、東御市羽毛田勤労者会館、海野宿駐車場、東御市農産物加工施設（味の里とうみ）の9施設の指定管理について審査し可決した。なお審議経過においては、東御市温泉健康複合施設において赤字になるのが解っていないから、経営者を公募せずに変えないことに疑問を感じる。改善の意味で公募が必要ではないかとの反対意見があったが、現在も努力が見られ、目的に合わせた経営が求められる施設であり、市内他施設と一

産業 建設

体的な経営が必要であることから、今後改善に向けてさらなる努力を要望して可決した。また陳情では、「森林・林業・木材産業施設の積極的な展開を求める」と「食の安全確保への取り組み強化を求める意見書の採択を求める」の2つの陳情（15P参照）は、採択すべきものと決定した。現地調査した上田バイパス、152号バイパス、海野バイパスについては、国道、県道、市道と管理者が異なり、むずかしい面も見られるが1日も早い開通が必要であると痛感した。



造成工事が進む鞍掛工業団地

一般質問

市政

を問う

本定例会の一般質問は12月15日16日の2日間にわたり14人の議員が行った。要約してお知らせします。



小山 義明 議員

問 不況に対する市の対策は

答 緊急融資など対応している

問 景気後退に対応しての市の対策について、企業・農家の状況は。

産業建設部長 地方事務所の調査では、数力所の企業が大変になっている。農家も収入減、石油の高騰など経営は良くない。

問 市としての対応・対策は。
産業建設部長 融資の枠を広げている1500万円↓2000万円。貸付期

間を60ヵ月↓84ヵ月延長し、個人の相談も12月30日まで受け付けている。

問 自動車不況下で、「日信工業」の進出に対する心配はないか。

産業建設部長 「日信工業」とも連絡をとってやっているので今のところ心配はない。

子育て支援について

問 保育料の2人目を半額に、児童館、児童クラブの利用、未満児保育の拡充は。
民生福祉部長 保育料2人目半額、3人目免除は今のところ考えていない。来年、和児童クラブを実現したい。病児保育、未満児希望も多くなっている。

スは国の動向を見て要望している。海野バイパスは来年度調査したい。
問 西海野、本海野の境、300mをグリーンゾーンにできないか。
産業建設部長 側溝、道路を整備して来年度グリーンゾーンを実現したいと考えている。

問 医学生等奨学金制度の実現について。
市長 市議選の中でも多くの市民から意見が出た。今議会でも再度提案し、貸付と同年数勤務で返還免除したい。条例を成立させてもらいたい。
問 海野地区の小学生通学路の整備を。18号バイパス、海野バイパスの見直しはどうか。
産業建設部長 18号、152号バイパス



改良が望まれる通学路



どんど焼き(滋野保育園)



依田 俊良 議員

問 教育委員会のあり方について

答 信頼関係の構築に努める

問 中央集権的な教育行政の背景がある中で、そして教育現場の先生方の大変なご苦労がある中で、教育界の旧態依然とした古い殻を破り、東御市の教

育界をしっかりとリードされることを東御市教育委員会に大きな期待をしている。
少子化時代を迎え、地方分権が具体化していく時代であり、市町村の教育委員会こそ、これからの教育改革の先頭に立つべきであると考えているが、現在の教育委員会の運営をどのように行っているか、また、教育委員会の役割をど

のように考えるか。
教員長 教育委員会のあり方は、できる限り風通しのいい組織でありたいと、着任以来考えてきた。
教育委員同士の活発な議論があり、学校の先生方と気持ちを通じ合える教育委員会、そして市民の皆様にもいつでも気軽にお願いいただき、お話しのできる教育委員会、あるいは教育長室であ

りたいと、そんな雰囲気づくりをすべく私は考えていく。
今教育委員会が果たさなければならぬ重要な役割は申し上げるまでもなく、学校と家庭、地域と行政、ともに共同してつくり上げる教育環境の整備であると考える。
教育委員会が担うのは、教育全般から文化、スポーツまで幅広い分野にわたる。学校教育に絞って申し上げれば、子供と教師が毎日生き生きと学校で学び合い、地域の人たちがいつでも学校に向いて、我が子の学びの支援、あるいはほかの子供たちの学びの支援をしていく、そうした学校づくりに教育委員会は耳を傾け、知恵を出し、努力していくと考えている。



三縄 雅枝 議員

問 妊産婦検診の無料の回数の引き上げを

答 現行5回を14回に増やす準備を進めている

女性サポート施策について

問 男女共同参画に対する市の取り組みは。
教育次長 女性登用の進捗状況については、委員会、審議会等は43・9%、区の役員については36%と政策決定の分野に女性の活躍が見られるが、依然として低い状況が続いているのでさらに啓

発に努めてまいります。
問 妊婦検診は保険が適用されないため、経済的理由から子供を授かるのをためらう女性が増えていると言われている。誰もが安心して出産できるように妊婦検診の負担をなくすため、無料回数の引き上げをするべきである。

教育次長 現行5回の妊婦検診の公費負担を平成21年度から14回に増やすこ



行進する婦人協力班

とを前提に関係機関との調整等の準備を進めている。
問 エコポイントは環境に配慮したものを購入することでポイントがもらえる。新たな商品を購入することができる。

省エネ、温暖化防止に貢献した分だけ経済的な価値で還元される仕組みである。一石二鳥のこの制度を市としても取り組むべきだと考えるが。
教育次長 市では来年度から温暖化対策地域推進計画の策定を行う予定。この中でエコポイントについても検討していく。

問 市内小中学校のいじめについての取組みの現状はどうか。
教育次長 小学校では9件、中学校では5件を認知しているが、少ないからといって看過できない。いじめの実態把握に当たっては、直接子供から話を聞くという事を特に大事にしていく。又メディア教育についても、いろいろな立場の意見を聞いて検討する。



就労訓練 (さんらいずホール)

問 障がいのある方が就労訓練のために施設に通うときに利用していたデマンド交通が利用できなかった。社会進出の第一歩と地域で普通に暮らすために利用できないか。また、生涯学習講座は、障がいがあっても気軽に受講できる体制になっているか。

教育次長 デマンドは公共性維持のため原則として特定個人を優先した予



阿部貴代枝 議員

問 障がいのある方の交通手段の充実はいくら程度にあげたいか。

答 デマンド交通はユニバーサルにいろいろな方をこばまない

約受付や通勤、通学、通所の利用、経済行為の利用、特定施設への専用はできません。生涯学習講座への受講を希望される際、ご心配や不安な事等気軽にお尋ねいただきたい。募集の際も気軽に参加いただけるよう広報等への掲載方法を工夫したい。

問 今までは障がいのある方をほとんど通所施設で抱えて支援した。自立支

援法により、地域で安心して充実した暮らしができるために相談体制や障がいの程度にあわせて就労支援や日中の居場所づくりを行う体制が必要となった。障がいのある皆さんが安心さを感じたところで地域へ出て行くとうとしていく。ハード、ソフトの両面を合わせた東御市らしさを出せる支援をどのようにお考えか。

市長 デマンドは非常に利用者が増え、お使いいただく方が乗りきれない事例が多々見られ、原則的な利用に戻された。公共交通だからユニバーサルにいろいろな方が利用できるということに関しては拒むところではないが機能性の点から通所の交通手段としては困難だと思ふ。

問 障がいのある方が福祉という面ではなく、普通に利用させてほしい。

市長 普通の交通機関がユニバーサルに使われるような状況が一日でも早く実現できるよう努力、検討したい。

※この他に「お産ができるまちは」「男女共同参画のまちづくり」についても質問した。



櫻井 寿彦 議員

問 市民病院へ産婦人科の設置について

答 来年中に院内助産所を開設100人程度のお産を取り扱う

問 少子化が進む中で子供は地域の宝であり、子供たちがこの地域で安心して産むことができる環境づくりは行政の大きな課題と考える。市長は市民病院へ産科の設置を公約に掲げたが、今でもその考えに変わりはしないか。また、設置に伴う課題は何か。

市長 家庭的な雰囲気の中で安心して自然なお産ができる院内助産所を来年

度中に開設を目指して準備している。年間100人程度のお産を取り扱いたい。課題は医師の確保と、より専門的な医療機関との連携が必要である。

問 近い将来産婦人科への移行と理解してよいか。また、市民病院が担う役割は一次施設か、周産期医療を提供する二次施設か。

市長 院内助産所は産婦人科の一形態

として認識している。市民病院が目指している産婦人科は一次医療施設に徹する。周産期医療施設は上田広域の中で副連合長として最大の努力をしていく。

後退道路用地整備事業の促進について

問 後退道路用地整備事業がスタートし1年経過したが、対象件数は何件か。内、何件契約できたか。

産業建設部長 この事業は4m未満(2項道路)の道路整備を行うことを目的とし、住宅建設の際に、道路の中心線から2m後退した部分を建築主との協議により道路用地として市に譲渡し、将来4mの道路整備が可能となる制度である。対象件数は39件、内19件の譲渡



住宅建設に合わせ拡幅したい2項道路 現制度では建築主の負担が重い



耐震不足が心配される市庁舎



青木 周次 議員

問 公共施設の維持管理について

答 今後専門職員を活用しながら維持管理につとめる

問 東御市で管理している建物ほどのぐらいいり、またどの担当課で維持管理をしているのか。施設を維持す

るのに近隣市町村では建築関係に詳しい専門職員がいるようだが、専門職員がいる事により修繕が必要な箇所を早期に見出し、修繕工事をする事が経費削減になり、又新築建物においての設計段階での見直し・変更・工事の中間チェック・工事完了等一連の検査が出来、ひいては住民サービスにつながると思う。今後外部委託または建築関係

のOB職員を採用する考えがあるか。

総務部長 市で管理している公共施設は、124施設あり各担当課において定期点検を行っている。建築関係の専門職員は、2級建築士が3名いるが今後この人材を活用しながら行っていく。外部委託や建築関係のOB職員の採用については、費用対効果も含め、今後の課題としていく。

合併特例債の今後の活用について

問 合併特例債を平成26年の活用期限内に活用して、市の公共施設の再整備を図ることがもつとも有利な方法であると思うが、市民アンケート等の調査をしたらどうか。又、限度額の85億3千万円を借りた場合、市の返済額はいくらになるか。

市長 舞台が丘再開発構想に関しても、必要最小限の中で最大の利用効果を図れるように、市民と一体となってより多くの機会をとらえ、ていねいに説明しながら、理解を得た上で着手していきたい。

総務部長 85億3千万円借りた場合、25億6千万円が市の返済金額となる。



石和 大 議員

問 市総合計画後期の重点施策は

答 将来的に4万人が暮らす元気なまちづくり

問 舞台が丘再開発構想について、どんな思い、手法を考えているのか。

市長 ユニバーサルデザインに配慮し、市民に愛され、親しまれる施設群とするため、構想を練りたい。

問 田中駅南口の整備について、今後どう生かしていくか。

市長 県などとも相談し、公共施設等の誘致等も視野に入れ検討したい。

問 市全体をデザインするのに、市民から私のお気に入りの風景といったものを募集し、ヒントにすると共に、専門家によるデザインの原案を作成し、市民と共に考え、より良い形を作っていくのはどうか。

市長 市民とのキャッチボールをするに当たって、市長としての考え方の基本的なものをお示しすることから始

め、ご提案を生かしていきたい。

問 海野バイパスの整備については、市民の安全の為に早期実現が求められているが状況はどうか。

市長 国、県とも協議し、上田市とも協議し、推進したい。

問 子育ての不安の中で、はじめ、不登校という問題があるが、どのように対処していくか。

教育長 これらの問題に対しては、遠回りであっても、音楽等の情操教育により、心を和やかに、しなやかな感性を養うことも大切と考える。

問 学力の定着のための一助として、児童館等への学習指導員の配置についてどのように検討しているか。

教育長 来年度4月から、全ての館で



早期実現が望まれる海野バイパス

同時というわけではないが、適任者に携わっていただく方向である。

問 地域の皆様との協働を食育等の分野で生かしていくのはどうか。

市長 地域の先輩方の力を発揮してもらい、困難を乗り越えていくための、食育、知育を進めていきたい。



東御市図書館

問 土地開発公社の資産評価のあり方に問題がある。銀行への支払利息を資産と見なしている。これだと支払利息がかさめばかさむほど資産が膨れ上がることになる。また簿価ではなく時価評価が必要ではないか。

副市長 資産の中に事務費と支払利息が入っているのはおかしい。しかし時価会計にすると資産は30%から40%下落する。資産が20億円



若林 幹雄 議員

問 土地開発公社の財政状況はどうか

答 時価評価すれば資産は、20億円程度目減りしている

ほとんど目減りする。今後計画的な資金の投入を進めていきたいと考える。

市長 日信工業と工場建設について合意したそうだが売買まであと3ヶ月ある。この間に契約解除となったらどうするのか。

市長 日信工業の計画がそのままなされると信じている。万一の時には契約額の2割を違約金としていただくことになっている。

問 就業援助受給者はいま全児童・生徒の9.2%にも及ぶ。入学時の助成金制度を検討できないか。中1ギャップ解消のための教員増員を2年生でも実施できないか。



山崎美喜子 議員

問 景気悪化から市民生活を守る政策はあるか
答 国において真に効果のある経済対策を望む

問 定額給付金は1回、消費税は一生。この経済対策では景気回復はないのでは。

市長 給付金だけで景気回復はない。給付金と消費税は別々に議論すべき。国保税は、基金約2億5千万円のうち4700万円の支出で、1世帯1万円の引下げは可能ではないか。

ため基金は必要であり、国保税の引下げは難しい。
問 妊婦検診14回無料化の予算を望むが。
民生福祉部長 平成21年度から14回分を公費負担にする。
問 市は、障がい者に働く場を幅広く提供すべきだと考えるがどうか。
総務部長 障がい者が自立した生活が

できるような、障がい者雇用は、今以上の取り組みをする。
問 市民病院について
院内助産所の開設の現況と課題は何か。市民病院改革プラン策定は、どこまで進んでいるのか。地域の医療ニーズを把握し、住民との対話を通して、自治体病院政策づくり運動を推進してはどうか。
病院事務長 院内助産所開設準備室長を配属し、院内助産所開設準備委員会を設置した。課題は小児科医の増員、病院職員の研修や医師の役割分担、施設整備等が必要である。プランは経営分析等を行い、素案を病院運営協議会と議員に示す。病院政策づくりは、多くの市民と意見交換を行っていく。



地域活動支援センター 祇津

問 準備室長が市民のところに出向き、説明し理解頂き安心してかかれる院内助産所づくりが必要では。
市長 市民の支持のもとに、産みたいという病院になるよう努力したい。

市長 入学祝い金制度は検討の価値はあるが問題は原資だ。中1ギャップについて2、3年生と続けるかどうか教育現場と教育委員会で話し合って行きたい。
問 市民の中には図書館建設に多額の税金を使うべきではないという意見があるがどうか。
市長 増え続ける資料や手狭な現状から図書館整備の必要性については認識している。今後市民の要望を取り入れる。



問 金融危機による市民生活への影響を市長はどう認識し、定額給付金に



依田 政雄 議員

問 定額給付金について
答 市民生活にとって一定の効果が期待出来るものと考えている

ついでどのような期待を持っているか。
市長 市民の皆さんの生活が大変厳しい状況にあることは十分認識している。定額給付金が広く国民に給付された場合、市民生活にとっても一定の効果が期待できるものと考えている。
問 現行不況下の中小企業支援策について
昨今の世界的金融危機の影響は、

あらゆる分野の企業を直撃している。本市の中小企業支援策はどうか。
産業建設部長 市内企業の情報をいち早く的確に把握するため、商工会、金融機関と連携を密にしながら企業支援をして参りたい。
問 自治体行財政について
集中改革プランの総括、また本市

の税収の傾向性と、健全財政を目指す財政指標に与える影響をどの様に考えているか、メリハリある行政経営の取組みについて伺う。
総務部長 集中改革プランを、着実に実行し、中長期的な財政計画を策定し、持続可能な行政運営を図っていく。
「特別支援教育支援員」のさらなる推進について
問 児童・生徒のために特別支援教育支援員の存在は必要不可欠である。さらなる推進についてどうか。
教育長 21年度においては、支援員を3名増員し、各学校1名体制を確立したいと考えている。



清水 新一 議員

問 鳥獣被害防止対策を
答 集落・地区単位や広域的な連携強化が必要

問 昨年はイノシシの被害が多く、また、カラスやハクビシンの被害も増えつつある。市では昨年の被害状況と被害防止対策はどうであったか。
産業建設部長 昨年の捕獲状況は10月末現在で一昨年に比べツキノワグマ7頭、ニホンジカ10頭で2倍、イノシシは26頭で約1.3倍であった。農作物の被害は水稲・畑作物を中心に捕獲数に

比例して増加している。他に巨峰へのカラス、ハクビシン等の被害も増えている。
被害防止対策としては、猟友会と連携をとり、わな、おり、銃器による捕獲対策を進める一方、予防対策として補助金による電気柵や防護柵などの設置をした費用の3割、上限10万円までを補助している。

問 鳥獣被害の具体的な防止対策と鳥獣防止特別措置法の市の考えは。
産業建設部長 鳥獣対策は個人でできる範囲と市としての支援策があると思う。個人的に対応していただきたいことは、生ごみ等の適正な処理と、電気柵等の設置費用に対する補助金を有効に利用し、猟友会への情報提供など円滑に行い、連携をとった対応が大切である。しかし、ここ数年野生鳥獣が頭数と種類も含め、増加傾向にあり、個人的な予防、防除対策では限界がある。特に多大な被害が出ている地域については十分協議をし、具体的な対応を考えた。
特措法については防除計画を作る中で地元負担金や維持管理のあり方等検



イノシシによる水稲被害

討したうえで、広域的な防護柵設置補助金等の導入も新たに考える必要があると思う。
※他に、一級河川の管理と改修について、県への要望や工事について質問をした。



改革が進む市民病院

問 6月に設置した市民病院改革プロジェクトチームの現在の検討状況と今後の見通しは。
市長 9月より産婦人科医師が着任し週一回の婦人科外来の診察を開始した。



土屋 伸吉 議員

問 市民病院への産科・婦人科設置の進捗状況は
答 3月議会において改革プランを示す

21年1月からは週2回の診察を行う予定。11月より院内助産所開設準備委員会を設置し、21年度中の開始を目指して準備を進めている。

今後の温泉施設のあり方についてどのように考えるか。

市長 外部の専門機関にコンサルタン卜委託し、現状分析をした。市民にとって欠くことのない憩いの場である為、今後も財政状況を踏まえた上で、改修を加え存続して行く。

公共建築物の耐震改修工事について

問 今年度は田中小学校、来年度は津小学校の耐震改修工事が実施されるが、その他の耐震改修工事の今後の予定は。
総務部長 来年度は、田中小学校の特別教室棟、管理棟の実施設計を予定しており、その他は今後計画的に耐震補強工事を進めて行きたい。

市庁舎等の改修・改築計画について
問 市庁舎及び周辺施設の耐震改修とバリアフリー対策について。
総務部長 舞台が丘再開発構想策定の中で、位置も含め検討をして行く。特に障がい者や高齢者の皆様に優しく分かりやすい庁舎に改善して行く。



蓮見 喜昭 議員

問 鞍掛工場団地の現状はどうか
答 期限に間に合うよう最大限の努力をしていく

問 現在の鞍掛工業団地の状況について、造成工事は順調に進んでいるのか、そして日信工業は予定通り工場を建設することができているのか。最近の不景気の影響で、日信工業が工場建設を断念した場合はどうなるのか。
副市長 12月5日に土地売買に関する合意書の締結を行い、平成21年3月までに正式な土地売買契約の締結を行う

ことになっている。大変厳しい工期ではあるが、期限までに完成して日信工業の東御市誘致に最大の努力をしていくところである。仮に日信工業が進出できなくなった場合の違約金は宅建業法で定める最大の割合が20%であるので、それに基づき双方合意の上、造成工事を終了し面積が確定した後、最終的な金額が決定される。

土地開発公社の今後について

問 土地価格が下落し続けている状況で土地開発公社の経営は非常に厳しいと考えるが、市としてはこれからどのように関わっていくのか。また公社は資産を簿価でなく時価で表すのが時代の流れと思うがどのように考えるか。
副市長 バブル崩壊後土地価格は右肩下がりに推移しているため、公社では販売に向けて努力しているが非常に厳しい状況である。公社の保有土地の簿価については長期保有が多く金利等がかさみ、現在の実勢価格を上回っているのがほとんどである。よって簿価での販売は困難であることから、簿価と実勢価格の差は今後、市が補てんして



急ピッチで工事が進む鞍掛工業団地

問 中央公民館・各地区公民館で活動されている進捗状況とその成果は。
教育次長 中央公民館のいきいき学習塾は教室数42受講生477人、各地区では滋野公民館23講座245人、津公民館16講座215人、和公民館



船田貴久夫 議員

問 生涯学習まちづくりの拠点、公民館の整備について
答 トータル的な配置、デザインを考えながら計画的に

17講座185人、北御牧公民館18講座172人。そのほか各地域の特徴を生かした事業にも取り組んでいる。
問 スポーツ団体と市民の交流・生涯学習塾受講と文化協会との連携の現状はどうか。
教育次長 スポーツ教室は22教室900人、1000人参加。学社融合では東部中学校の生徒とマレットゴルフ

フ協会の皆さん、又北御牧小学校の生徒と地元ゲートボール協会の皆さんと既に交流が計られている。文化協会との連携については生涯学習講座を修了した皆さん、知り合った仲間の皆さんの文化協会への加入を勧めている。
問 学習する居場所である公民館は地域の子供から高齢者や身障者の皆さんが使いやすいバリアフリー化、もしくは

は建て替えの検討がされているか。
市長 和、滋野地区はコミュニティセンターが竣工している。順番は津地区公民館ではないか。なお、旧津津小学校跡地利用という形の中でいろいろと施設が入っている。建て替えについては総合的に敷地全体のトータルな配置デザインを考えながら計画的に時期の選定を目指してまいります。

問 津津児童クラブの現況は。
民生福祉部長 10月に開設した津津児童クラブの利用状況は現在19名、職員体制は指導員2名配置、宿題の指導やおやつ提供など保護者に代わり保育を行っている。学校側との連携は整備段階から引き続き良好な連携が保たれている。

請願・陳情

(陳情第1号) 介護労働者の処遇改善を求める陳情書
陳情者 県医療労働組合連合会
審議結果 採択

(陳情第2号) 介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情
陳情者 県社会保険推進協議会
審議結果 不採択

(陳情第3号) 所得割重視の国保税(料)を求める陳情
陳情者 県社会保険推進協議会
審議結果 不採択

(陳情第7号) 移動火葬車廃止を求める陳情書
陳情者 東信地区森林労働者
審議結果 採択

(陳情第4号) 介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書
陳情者 県社会保険推進協議会
審議結果 不採択

(陳情第5号) 共済法制定を求める陳情書
陳情者 互助共済を守る長野県県民連合会
審議結果 採択

(陳情第6号) 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める陳情
陳情者 東信地区森林労働者
審議結果 採択

(陳情第8号) 「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書
陳情者 日本動物霊園連合会
審議結果 議席配布

(陳情第8号) 「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書の採択を求める陳情書
陳情者 人にやさしい地域づくりの会
審議結果 採択

「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書

偽装表示を一掃するため、JAS法を改正し、直罰規定を設けるなど罰則を強化する規程を設けること。

〇農作業の工程管理や農場から食卓に至る衛生管理の普及・促進で食品の安全性を高めるとともに、トレーサビリティシステムの確立で食品の流通を一層明確にすること。

〇輸入食品の安全に関する情報提供を迅速かつ適切に行うとともに、監視、検査体制の強化・拡充をはかること。

〇不正な取引を行う業者に対し、迅速な立ち入り調査に基づく販売禁止や、製品の回収命令、罰則強化を図るため、消費者安全法を制定すること。

全員協議会だより

全員協議会が開かれ、市づくりに関わる重要事項について、行政側の各担当者から説明を受けた。その主な項目は、左記のとおり。

◎年金補償額の補正について

合併による制度上の理由で、元佐久広域連合消防職員の年給受給額が少なくなつたため、本来支払われるべき年金額を市が補償することとなった。

◎21年度重点施策について

今回は、重点施策の項目を定めた旨の報告であり、今後、実施計画、予算査定後に予算額を決定するとの報告があった。第1次東御市総合計画の基本理念「さわやかな風と出合いの元気発信都市」を実現するため「小さくてもキラリと光る東御市」、「人口4万人都市」を目指して、市民病院に院内助産所の開設、小学校6年生までの医療費無料化や食育の推進、市役所周辺の公共施設のランドデザインの設定、財政基盤の安定施策などを重点として展開。

◎舞台が丘再開発構想について

合併特例債を活用しての舞台が丘地域一帯の再開発構想について、プロジェクトチームを組織して検討している。本庁舎は建設するかどうかも含め、市民からの意見を求めていく。図書館は5ヶ所の建設候補地が報告されており、図書館研究委員会としての結論は建設の方向となっている。その他庁舎別館・企業庁舎・勤労者会館・中央公民館・人権啓発センター・舞台が丘会館・商工会館については、基本構想策定の段階において検討する。

◎情報通信システムのあり方について

コミュニティFMを検討し、全戸にラジオを無料配布し、災害発生時には、自動的にスイッチが入るシステムを検討する。

◎鞍掛工業団地について

平成20年12月5日に日信工業と翌年3月31日までに正式契約を結ぶ合意を取り交わす。仮に一方的な契約解除がある際は契約額の20%を違約金として徴収する。

◎土砂災害ハザードマップについて

市内全世帯に一部つつ配布

◎景気浮揚対策(商工業)について

不況対策及び倒産防止資金として貸付限度額のアップ、貸付期間と分割返済期間の延長等を実施。

◎文化会館の指定管理者について

公募の結果3社から応募があり、選定の結果、特定非営利活動法人J's文化フォーラムに決定。期間は5年間。

◎「東御市医学生等奨学金貸付条例」について

金銭的・経済的理由により医学部への就学が困難とされる学生に就学を促すとともに、医師を志す能力のある学生に対して学費等の経費を貸し付けることにより、市民病院に勤務し郷土の医療を支える医師を市自らが育成する。

◎地域活動支援センターの移行について

地域活動支援センターの仕組みをより個別支援を重視したものに。3ヶ所の地域活動センターを現状のまま残すことを基本とする。指定管理者も公募する予定。

◎東部クリーンセンターの改修について

◎審議会等委員の選出について



指定管理者が決定した文化会館

議会のうごき

11月 1日	総合文化フェスティバル	11日	議会全員協議会
4日	菊花展表彰授与式	12日	社協理事会
5日	静岡県静岡市視察来庁	15日～16日	一般質問
8日	消費生活展	18日	総括質疑・委員会付託
9日	市議会議員一般選挙投票日	19日	常任委員会
10日	当選証書授与式	22日	常任委員会
	農業者年金協議会スポーツ大会	24日	正副委員長会議
13日	鞍掛工業団地造成工事安全祈願祭	25日	平成20年第4回定例会閉会
14日	議員懇談会		議会運営委員会
	新人議員研修会		議会全員協議会
	南部公民館起工式		
15日	身体教育医学研究所運営委員会	1月 7日	第2回議会だより編集委員会
16日	ソフトボールリーグ戦閉会式・納会	9日	部落解放同盟東御市協議会旗開き
17日	みまき福祉会評議員会	11日	消防出初式
	上田市東御市真田共有財産組合定例会	15日	みまき福祉会評議員会
18日～19日	社協役員研修会		みまき福祉会理事会
19日	会派代表者会議	16日	第3回議会だより編集委員会
20日	東北信9市議会正副議長会		新春経済講演会・賀詞交歓会
21日	議員懇談会		小諸北佐久医師会懇親会
22日	早起き野球連盟納会	16日～17日	川西保健衛生施設組合視察研修
23日	海野宿ふれあい祭	18日	在日民団東信支部新年会
26日	障害者の日の集い	19日	上田地域市町村議会議員研修会
	平成20年第2回臨時会	20日～21日	県市議会議長会総会
29日	人権尊重のまちづくり市民の集い	22日～23日	清和会・公明党のぞみの会派視察
		23日	第4回議会だより編集委員会
12月 1日	議会運営委員会	26日	自治推進委員会
2日	上信自動車道建設促進 期成同盟会群馬県へ要望	27日	議会運営委員会
3日	土地開発公社理事会		川西赤十字病院運営審議会
6日	体育協会創立5周年 ・NPO法人認証記念式典	30日	佐久水道企業団議運
8日	みまき福祉会評議員会		
	みまき福祉会理事会		
9日	平成20年第4回定例会開会 第1回議会だより編集委員会		



選挙後の議会を傍聴して



原田京子さん
(本海野)

私が議会傍聴に関心を持つようになったのは、20年の歴史があります。自分が一票を投じ議会へ送った責任もあるといわれ先輩につれられ傍聴をはじめたのが最初でした。

今回の議会は特に定数3名減という選挙後の一般質問だけに、期待をもって傍聴しました。議場は20年前の凜とした静寂さは変わりありませんが、22名から19名になり、どことなく静かさが感じられました。3万2千の人口では19名は妥当かと個人は思いました。

一般質問の方法は少々変わりましたが議員それぞれのしつかりとした質問内容、納得いかないと再々質問をくり返し、それに対しての行政側も、真剣に丁寧な答弁を行い紙面上では感じられない迫力があります。

議長も新しくなられ、副議長が女性となり大変嬉しい限りですが、いつもなが

ら答弁側に女性が一人もいないことに寂しさを感じています。

今は直接傍聴しなくてもテレビでも実況放送がされていますが、やはり緊張した空気は直接傍聴ならではのものかと思えます。私共も政治・議員に関心を持ちみんなが笑顔で暮らせる東御市になるよう協力したいと思っています。過去にこんな言葉を聞いた時がありました。「私の信条は、言にくい事を、言にくい場所で、言にくい人に言うことです。」

新しい議員の皆さん健康に留意され、真の議会人として頑張ってください。



傍聴に訪れた北御牧小児童

めどがき

平成21年度は東御市が誕生して6年目を迎えるようとしております。

昨年11月市議会は任期満了にともない2回目の一般選挙が実施されました。議員の定数が22議席から19議席となり、市民の声を市政に反映する上でも責任の重さを感じております。市民と行政が力をあわせて協働のまちづくりに取り組み「さわやかな風と出会いの元気発信都市」東御市の発展を願うものであります。

金融危機から広がった景気後退は一段と深刻になっており、今こそ、地方の行政のあり方が一層、問われる時がきております。自立財源確保が増々重要になってくるものと思えます。

さて、この「議会だより」も改選により広報委員会として後記9名で担当することになりました。年4回2年間で8回の発行をいたします。これから2年間議会活動の実態と審議の内容、および結果を市民の皆さんに「読みやすく」、「わかりやすく」を目標に編集に努力していきたいと考えております。また、市民の皆さんの声を掲載する「私の一言」への投稿を引き続きお願いいたします。

この議会だよりが、市民の皆さんに議会の内容を知っていただき理解と信頼によって市政の民主的運営が見られればと念願するものであります。

編集にあたり、お気づきのところがありましたら広報委員なり議会事務局にお知らせいただけたらありがたいと思えます。

なお、引き続きご愛読のほどお願いいたします。

清水 新一

広報委員

- | | |
|-------|-------|
| 清水 新一 | 阿部貴代枝 |
| 依田 俊良 | 石和 大 |
| 蓮見 喜昭 | 三繩 雅枝 |
| 土屋 伸吉 | 町田 千秋 |
| 若林 幹雄 | |